婦人と文学の話

宮本百合子

青空文庫

われわれの『文学新聞』が、今度「婦人欄」を特別に設け、そこへ面白いためになる婦人と文学とに関する種々な記事を精力的にのせることになったのは、実にうれしい。プロレタリア文学に、女のプロレタリア文学、男のプロレタリア文学というような区別があるはずがない。プロレタリア・農民としての女、男の全生活が階級としての芸術的表現をとおして、プロレタリア文学のなかにこめられているのだ。

けれども、現実の問題として見るとき、日本におけるプロレタリア・農民の婦人のこまごまとした本気な日常闘争の経験は、果して十分日本のプロレタリア文学の中に描きつくされているだろうか？

工場閉鎖、賃銀不払、労働強化、三百万の失業と農業恐慌――資本家地主は遂に満蒙で帝国を始め、飢えた勤労大衆の血で、植民地再分割とソヴェト同盟干渉戦争に着手している。プロレタリア・農民の女の生活はこういう状態の下で、切ない男の生活より更に切ない最悪の条件におかれている。資本主義が行詰ると、女と子供とを一層むごく搾りはじめる。男の半分以下の賃銀でこき使うばかりでない。帝国主義戦争に働き手である夫や兄を奪われ、一番惨めな境遇に立つのはプロレタリア・農民の女だ。しかも資本家地主の狡さ極まりないことには、こうして搾りつけるに便利なようにと、処女会だの御用雑誌だのをつかって、プロレタリア・農民の女の文化の程度を何処までも奴隷的な低さに止めて置こうとする。あらゆる職場で、資本主

義社会の髪も抜け落ちる程、婦人を搾取しながら、いざとなると「何だ女のくせに生意気な！　おとなしくしろ！」と、どやしつける。――どやされても引込まなくなったのが、今日のプロレタリア・農民の婦人大衆だ！　婦人の階級闘争の場面は、決してストライキ、農村争議だけには限られていない。毎日の台所に、出産の床に、八百屋で買う一銭の葱の中にまでしみとおっている。プロレタリア文学はくまなく、此等の現実を、プロレタリア・農民の生活全体に関連する事実として、描写しなければならないのだ。

　男の作家が書くばかりでなく、婦人のプロレタリア作家がもっともっと多勢出て来て、独特の実感で、日夜闘う婦人大衆の経験の隅から隅までを活々と書かねばならないのだ。

　日本プロレタリア作家同盟の婦人委員会は、婦人をこめてプロレタリア作家が、どんな風に作品活動をして行くべきかを研究すると同時に、婦人を主とする文学サークル発展のため、婦人通信員養成、婦人作家獲得のため益々積極的な活動を開始している。われわれは一人でも多く職場大衆の中から婦人サークル員を、婦人通信員を、婦人作家をもたねばならない。一人新しい婦人のプロレタリア農民作家、通信員の出ることは、われわれプロレタリアの文化が、それだけ支配階級に対して勝利した証拠なのだ。

　今年の三月八日「国際婦人デー」は、支配階級のファッショ化と、侵略戦争の真只中で闘われようとしている。『文学新聞』の婦人読者、サークル員、通信員のみなさん！　みなさんはこの意味深い「婦人デー」の文化闘争としてどんな用意をしていますか？　世界のプロレタリ

ア・農民の婦人が手をつなぎ、戦争絶対反対！　ファシズム絶対反対！　ソヴェト同盟を守れと叫ぶ日だ。現実、戦争に夫や兄弟を奪われ、物価騰貴と失業に苦しめられているわれわれが手をつかねてはいられぬ。

満蒙事件がはじまって半年近くたつのだ、ほんとに婦人の立場から戦争反対を叫ぶ小説、詩、通信で『文学新聞』を埋めよう！　ファッショ化と闘うプロレタリア婦人の文化の砦として、サークルをどしどし拡げよう！　婦人通信員の倍加運動を、着々とやって行こう！『文学新聞』の婦人読者は、一人が二人を勧誘するのだ！　だが云うまでもなくこういう仕事は、婦人だけにまかされた任務ではない。プロレタリア・農民なら男も熱心に参加し「国際婦人デー」の実践としなければならないのだ。何故なら、プロレタリア・農民の真の解放は、半数を占める女がおくれていたのでは物にならぬ。それはレーニンも云っている。プロレタリア文学はプロレタリアの階級的全生活の鏡だ。そこへ、いつまでもおくれたものとして女が現われていることは、決してあり得ないことなのだ。

〔一九三二年二月〕

青空文庫情報

底本：「宮本百合子全集　第十巻」新日本出版社
1980（昭和55）年12月20日初版発行
1986（昭和61）年3月20日第4刷発行
初出：「文学新聞」日本プロレタリア作家同盟機関紙
1932（昭和7）年2月20日号
入力：柴田卓治
校正：米田進
2003年1月16日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

婦人と文学の話

宮本百合子

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/